

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月22日

計画の名称	茅ヶ崎市における浸水対策の推進（防災・安全）															
計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	茅ヶ崎市															
計画の目標	集中豪雨や都市化による浸水リスクの増大に対し、安全・安心な市民生活の確保を図る。															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		1,029	A	1,029	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H31末)	(R3末)
1	①市内の中心市街地を流れる、千ノ川の護岸整備率を61%（H29）から79%（R3）に増加させる。			
	①河川における護岸整備率 護岸整備延長（m）／必要とする護岸整備延長（m）	61%	72%	79%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
その他総合的な治水 事業	A08-001	総合治水	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	準用	－	総合流域防災事業（準用 河川千ノ川）	L=300m護岸、掘削、用地買収 ・補償	茅ヶ崎市	■	■	■	■	■	1,029		－	
											小計						1,029			
											合計						1,029			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者等で構成された茅ヶ崎市下水道運営審議会で、評価指標の実現状況及び今後の方針等について意見を求め、事後評価を実施した。	令和5年3月
	公表の方法
	ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	準用河川千ノ川の延長1,700mの内、計画期間内に延長304mの護岸整備が完了したことにより、護岸整備済み延長が1,347mとなり、護岸整備率が当初61%に対し79%へ上昇しており、浸水対策は進捗している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
浸水対策の進捗を図るため、準用河川千ノ川の護岸整備を継続していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	護岸整備率		
	最 終 目標値	79%	令和3年度末の最終目標値79%に対して、最終実績値は79%であり、目標を達成した。
	最 終 実績値	79%	